





## こんな時こそ「訪問看護」の出番です！



～ その人らしい生きかた・・・共に生きる ～

病院で最期をむかえる事が当たり前になってきた今、もう一つの選択肢として再び注目が集まっている在宅医療。私たち訪問看護師の役割をお伝えします。

「病気や障害があっても、住み慣れた家で暮らしたい！」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増える一方で、「家族だけの介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだから」と不安に思う方も多いと思います。そんな時は、私たち訪問看護師の出番です。

悪性腫瘍、難病等の疾患、障害があっても、住み慣れた家で安心して療養生活を送っていただけるよう、多職種と連携し24時間365日サポートしていきます。

退院後の生活を不安に感じてる患者さんは多くいらっしゃると思います。意外と知られていない試験外泊での訪問看護の介入。「退院後の生活をイメージする」ことができます。

先日、ある総合病院より、「昨日、ご本人に癌末期の告知をしました。外泊を希望されてますが、点滴が必要です。急ですが明後日から1泊、外泊で点滴をお願いできますか？」と連絡を受けました。直ぐに連携させていただき、スタッフの訪問調整をし、当日ご自宅に訪問。お身体の状態を観察し、お家で何かやりたい事はありますか？とお聞きすると、「妻の食事を何か食べたいけれど、不安で・・・」と。入院中は、嘔気や倦怠感からお食事水分もあまり摂取出来ていない為、少量のスープや軟食を舌にのせる事で、味覚や嗅覚で楽しむ事を提案。「夜は、隣に住む長男家族とこのリビングでの食事が楽しみなんです。」と笑顔で話されました。日の当たるリビングのソファに座り、新聞を読む。いつもの時間を過ごしながら、「人生のお礼ノートをまとめてます。なかなか進まないが・・・時間との戦いなんです。」と。病院からの点滴もいつものソファで行いました。翌日は、「夜も良く眠れました。住み慣れた場所だから。」「看護師さんが来てくれるから安心でした。」「妻の肉じゃが、トマトジュースも本当に美味しかった。」と、夕方病院に戻られました。

一人一人の「どう生きるか」をご本人ご家族と一緒に考え、人生に寄り添う看護の大切さ必要性を感じ、あさがおのスタッフは、今日も心待ちにしてくれるご利用者さま宅に車を走らせています！！



その場にある物を活用！在宅医療のできることのひとつです。

### お知らせ



2020年1月より、新しいスタッフMさんが仲間入りします！次回、あさがおスタッフ紹介コーナーに載せます。楽しみにして下さい☺

### スタッフ募集中！

ご利用者さんに寄り添いその人らしく生きる看護のお仕事を一緒にしませんか？訪問看護未経験の方も安心！同行訪問を致します。



### 訪問の空き状況



月～金曜日：若干の空きがあります  
土・日曜日：応相談

- \* お時間の調整等、できる限りご対応させていただきます。まずは、お問い合わせ下さい。
- \* 土日は1名体制でご対応させて頂いております。

**24時間・365日緊急時の訪問、ご対応させていただきます！**

一人ひとりの利用者様を大切に  
心に寄り添う看護をおとどけます

### 訪問看護ステーション あさがお

管理者 吉崎 由希子

〒312-0015 ひたちなか市中根3337-103

TEL：029-229-0014 FAX：029-229-0081



これからも、皆様のお力に添えるようスタッフ一同 努力し、たくさん笑顔と出会い、地域の皆様がご自宅で安心して暮らせるよう全力でサポートします。

《訪問看護師》

吉崎由希子・田村咲子・末次佐紀子  
遠藤正恵・武藤文子・矢次文子

